

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果

別紙

(データ集約：12/3)

| 採取場所 | 福島第一 1～4号機 取水口内北側海水 | | ②炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度) |
|------------------|------------------------|-------------|--|
| 試料採取日 | 平成23年11月14日 | | |
| 検出核種 (半減期) | ①試料濃度 (Bq/L) | 倍率 (①/②) | |
| I-131 (約8日) | ND | - | 40 |
| Cs-134 (約2年) | 50 | 0.83 | 60 |
| Cs-137 (約30年) | 75 | 0.83 | 90 |
| H-3 (約12年) | 320 | 0.01 | 60,000 |
| 全 α | ND | - | - |
| 全 β | 360 | - | - |

※ 炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ I-131, Cs-134, Cs-137については、11月15日公表。

(評価)

H-3, 全 β 放射能が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。